

2018年度児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年2月22日

事業所名：放課後等デイサービスウイズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法定で定められた、スペースを確保しています。	利用する分には十分なスペースと感じる。一方で「法定規定がわからないのでどちらともいえない」というご意見を少数頂きました。	より活動しやすいように、備品の配置など可能な限り工夫していきます。
	2 職員の適切な配置	配置基準+1名以上(常勤換算)の職員配置をしています。	利用する分には特段に問題は感じてません。	保護者に対して、適宜、適切な数の職員を配置している旨をお伝えしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーに関しては、入り口からの段差を無くしトイレへの手すり設置を行い、適切に配慮しています。また情報伝達に関しては1日のスケジュールを視覚構造化を取り入れて表にするなど工夫をしています。	特段に問題は感じない。	バリアフリーや、情報伝達に配慮した設備整備は、常に障害特性を意識して「気付く」ことを大切にしていきたいです。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子ども達の活動に合わせて、どのスペースを使うか工夫しています。	児童が快適に過ごせていると思います。	今後も不要なものを置かない、広い活動スペースの確保を心掛けていきます。また定期的に備品や設備、絨毯の除菌、清掃を行います。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	対象児童のモニタリングを定期的に行い、個別支援計画に沿った支援が出来ているか職員で検討しています。また必要に応じて計画の見直しをしています。		児童一人一人の支援で行うのはもちろんの事、施設内の行事や催し物に関しても、目標設定と振り返りを行っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による評価は現在の所行っていません。		今後検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部の研修に関しては定期的に行っております。内部の研修も適宜行っております。		職員の資質向上に関しては、行政機関管轄の所定研修への参加、外部講師によるSV、その他発達障がい等に関する任意研修への参加を通じて、専門性向上に努めています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを丁寧に行い、それに基づいた計画の作成を行っています。		初期面談で丁寧なアセスメントを行い保護者と児童の課題やニーズに沿った支援計画の作成に努めています。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別療育と集団療育を組み合わせた支援や、計画の作成をしています。集団活動が苦手な児童には、部分的に参加してもらうなどの配慮をしています。	保護者としての要望や意見を交えて児童一人一人の個性、特性に寄り添って作成されていると感じています。	今後も児童の状況に応じた、個別活動や、集団活動を適宜組み合わせて支援していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童の社会性や生活面や学習面での支援計画や保護者に対する家族支援も含めた総合的な支援計画を作成しています。		今後も児童や家庭の課題やニーズに合わせた、より具体的で分かり易い支援計画の作成に努めて参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書に基づいた支援の実施をしております。	ご回答頂いた全利用者が「はい」の項目を選択されていました。	計画書に基づいた支援と、日々の活動の中での評価・改善を行い、PDCAサイクルに沿った活動を展開していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全員で毎月会議を行い、次月以降の行事の立案を行っています。		今後も様々な活動が展開できるよう、職員間で立案していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	支援時間の短い平日と、長い休日で支援の内容を変えて工夫しています。平日学校の宿題や体を使う遊び等を中心とした支援、休日は時間のかかる創作活動や、集団行事などを行っています。	ご回答頂いた全利用者が「はい」の項目を選択されていました。土曜日や祝日にイベントが増えたので子供が喜んでますとのご意見も頂いています。	提供時間や状況に応じた、支援提供を展開していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月の職員会議で話し合い、活動内容が固定化しないような工夫をしています。また、恒例行事の夏祭りやクリスマス会で集団で活動できる催しを企画、実施しています。		今後も多彩なプログラムを展開できるように工夫していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々の児童の状態を記載した共有ノートを用意し、始業前に職員全員が確認するようにしています。		児童の状態把握や、支援内容の方向性の統一を図っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終業後に情報共有ノートを使用して、その日の児童一人一人の状態を記載して、職員全員で共有しています。		その日の児童の施設内での情報だけでなく、保護者や学校から伺った内容に関しても、情報共有の徹底を図っていきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記載すべき事柄を、正確に記録していくようにしています。		今後とも正確な記録を徹底し、また支援の検証や改善を図っていきます。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリングを定期的に行い、対象児童の現状把握と支援の方向性を話し合い、計画の見直しを行っています。		計画書に沿った支援と、定期的な見直しや改善を行い、PDCAサイクルに沿った支援を展開していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	地域の特性上、相談支援事業所や、相談支援専門員との関りはほぼありません。代わりに、学校の教師や、児童相談所担当者や、病院の医師等との連携は適宜取らせて頂いています。教師とは適宜、対象児童の担当者会議を行っています。		今後も関係連携機関との連携を図っていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所からの移行の支援は、まだ請け負ったことがありません。		児童発達支援事業所から当施設への移行の際は、幼稚園や保育所、学校との連携を十分に図り、支援内容や支援の方向性の、情報共有を行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	当施設において、学校卒業の為退所した児童はまだおらず、障害福祉サービス等との連携は十分に取れていない現状です。		今後学校を卒業する児童が出てくる予定なので、その後の障害福祉サービスとの連携や、情報共有を十分に図っていく事が課題です。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達の専門機関は、利用者が定期的に通っているので、保護者を通じて情報共有をさせて頂いています。専門機関との研修も適宜行っています。		専門機関と必要に応じて連携を取り合い、協働して児童の発達支援に関わっていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童館との交流は図っています。児童館主催の行事に参加する機会がありました。	どちらともいえないというご意見を多数頂きました。当施設でそのような活動をしているか不明であったようです。	今後とも、地域の児童館と連携を取り合い、地域交流を図っていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	利用者の保護者を招待して、行事は行っておりますが、地域の方をお呼びするまでには至っていません。	イベント時など保護者同士の交流はありますが、地域の方の参加はあまり見られないです。	地域の方との交流は今後の課題であると認識しています。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	初回面談の際に出来る限り丁寧に説明するよう心掛けています。	多数の保護者からご満足頂いているというご意見ですが、一部の方から時々説明が分からないことがありますとのご意見も頂いています。	初回面談の際に出来る限り分かり易い説明を心掛けるよう努めていきます。また必要に応じてご不明な点等にお答えさせて頂くように致します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者に適宜、支援計画書等をご確認頂き、支援の方向性の説明をさせて頂いています。	保護者としての要望や意見交換も交えながら、スタッフの方より毎回丁寧に説明頂いております。	保護者に支援計画書をご確認頂くとともに、丁寧な説明を心掛けていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者に対する助言は難しい問題であると認識していますが、保護者の子育てへの取り組みに協調させて頂きつつ、児童の現状に合わせて、時にはこちらから提言等をさせて頂いています。	多数の保護者に、ご満足頂いているようです。	今後も、必要に応じて保護者と面談を行い、子育てに関する適切な提言をさせて頂きます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日頃から、児童の発達の状態を把握し、保護者と情報共有するようにしています。	全てのご利用者から、「はい」というご回答を頂きました。「子供に普段との違いがあった場合に教えて頂けるので助かっています」とのご意見も頂いています。	今後も保護者に、施設での児童の日々の状態や活動内容を正確にお伝えし、ご家庭や学校での取組みに沿えるようなコミュニケーションを図っていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて、面談の機会を設けたり、お声掛けが出来るように努めています。	多数の保護者に、ご満足頂いています。	今後とも保護者の方が相談しやすい雰囲気づくりに努めていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会の実施は、当事業所の大きな課題であると認識しています。	「どちらともいえない」や「いいえ」を選ばれた方が半数以上でした。「保護者向けの茶話会などあってもよいのかもしれない」とのご意見も頂いています。	今後行事イベントを保護者参観の機会にする等して取り組んでいく予定です。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口を設置し、保護者にも周知しています。苦情があった場合に出来る限り迅速な対応に努めています。	多数の保護者に「はい」とご回答いただきました。	苦情に対する職員間での情報共有をより徹底し、丁寧に迅速な対応に努めていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童の特性や保護者のニーズに合わせた適切なコミュニケーションを図るように努めています。	全ての保護者に「はい」とご回答いただきました。	児童の特性や、現状の把握を常時行い、適切な配慮に努めていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動内容をブログを通じて発信させて頂いていますが、当施設の利用者に向けて、活動内容や行事予定のご報告の出来る会報の発行を検討をしています。	「どちらともいえない」とご回答された方が数名いらっしゃいました。	会報やインターネットを通じて、利用者の方々がどのような活動をしているのか分かるような、情報を発信していく予定です。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いに関しては細心の注意を払っています。書面で頂いている個人情報に関しては、鍵付きのロッカーに保管しています。また、業務上知り得たことをむやみに口外しない様に、就業規則に定めています。	全てのご利用者から、「はい」というご回答を頂きました。	今後も、個人情報の取り扱いについては細心の注意を払っていくよう努めていきます。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員向けにマニュアル策定や施設内研修を行っていますが、保護者や利用児童に向けては周知できていない現状です。	「どちらともいえない」とご回答された方が数名いらっしゃいました。	保護者に向けて、各種のマニュアルの周知を検討します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員向けに避難訓練の実施はしております。	「どちらともいえない」とご回答された方が、多数いらっしゃいました。	利用児童も含めた避難訓練が実施できるように、検討していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	職員が外部の研修会に参加する機会を設け、虐待防止のための知識の習得や、意識の向上を図っています。		今後も定期的な研修会の参加等を通じて、職員の意識向上に努めていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事前にこのような場合に施設内の施錠を行うと、職員間で情報共有しています。保護者に対しても、やむを得ない場合身体拘束を行う場合があると、同意書を頂いています。また、その様な場合の記録を残しています。		今後とも、やむを得ない場合には身体拘束を行う可能性があるとして、保護者や児童に十分な理解をして頂けるよう努めていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーに関しては、保護者から毎年書面を通じて伺うようにしています。医師の指示書が出ているケースはまだありません。		医師からの指示書がある場合、それに基づいた適切な対応を徹底していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例は、作成、保存と、職員間での情報共有をするようにしています。		今後の対応改善の為に、ヒヤリハット事例の記録と情報共有に努めていきます。